



2026年度

明泉寺橋

福山市駅家町地内

橋梁補修調査設計業務委託実施設計書

業 務 概 要	当初設計	
	橋梁補修調査設計（橋長15m以上100m未満）N=1橋 詳細調査 一式	

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁補修調査設計業務委託（明泉寺橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月広島県測量業務共通仕様書、設計業務等共通仕様書、地質・土質調査業務共通仕様書（以下共通仕様書という）、「福山市土木設計業務等委託契約約款（契約書を含む）（以下契約約款という）」、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市測量・建設コンサルタント等業務検査基準」
- ・その他関連規格類
- ・「令和7度改訂版 工事工種体系ツリー」、「令和7年度 土木工事数量算出要領」

第2節 地元への周知・地権者への承諾

- ・受注者は、地先住民、町内会長、土木常設員に業務着手及び業務完了の報告を行うこと。また、業務着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な業務内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、業務着手の際に、あらかじめ沿線地権者に業務内容等についての説明を行い、承諾を得ること。
- ・業務に伴う伐採等は、業務執行上必要最小限に止めると共に、伐採した有価木は附近に整理し、みだりに第三者に被害を与え、トラブルを生じることのないよう留意するものとする。

第3節 管理技術者及び照査技術者の配置

- ・管理技術者に求める資格要件
業務分野ごとに適用する共通仕様書（広島県）による。
なお、土木関係建設コンサルタント業務（主に設計業務）においては、発注者が重要構造物等と認めた業務を除き、設計金額（税込）が5,000千円未満（他業務と併せた場合は、設計業務等にかかる設計金額（税込））の業務については資格を求めない。

- ・照査技術者の配置を求める業務
業務分野ごとに次によることとし、その他、発注者が必要と判断する業務。

(1) 測量業務

公共測量作業規程により実施する「基準点測量」、「路線測量」、「河川測量」、「地形測量」、「幅杭設置測量」及び「用地測量」

ただし、設計金額（税込）が5,000千円未満（他業務と併せた場合は、測量業務にかかる設計金額（税込））の業務については求めないこととし、管理技術者が照査を行うことが出来る。

(2) 地質調査業務

「解析等調査業務」、「軟弱地盤技術解析」及び「地形・地表地質踏査」

(3) 補償コンサルタント業務

全ての業務に求める。

(4) 土木関係建設コンサルタント業務

「概略設計」、「予備設計」、「詳細設計」等の業務

また、変更契約により業務分野が追加された場合、追加された業務分野にも配置を求める。

第4節 管理技術者及び照査技術者

- ・受注者は本業務において、適格な管理技術者及び照査技術者を配置するものとする。

管理技術者及び照査技術者資格要件

技術士又はシビルコンサルティングマネージャーの資格保有者（「設計業務委託等共通仕様書」第1107条）

設計業務の種類：鋼構造及びコンクリート

技術士：技術士法（昭和58年法律第25号）第4条に定める技術部門のうち「建設部門」における左記「設計業務の種類」に該当する資格

シビルコンサルティングマネージャー（RCCM）：上記「設計業務の種類」ごとのRCCMの資格

添付書類：技術士又はRCCMの資格証の写し（コピー可）

第5節 担当技術者

- ・受注者は本業務において、担当技術者の配置については、監督員との協議により省略できるものとする。

第2章 業務条件

第1節 基本条件

- ・業務内容及び測量予定箇所については事前に監督員と打合せ、承認を得るものとする。
- ・本業務の測定の基準となる与点は、街区基準点によるものとする。

第2節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：広島県東部事務所
- ・協議内容：河川法第 24 条及び第 26 条申請書

第3節 石綿含有調査

- ・受注者は本業務における対象構造物について、今後工事対象となる橋梁の塗装部に対して石綿含有の事前調査を以下の方法により実施し、調査結果について速やかに監督員に報告すること。
試料採取及び分析（JIS A 1481に基づく定性分析）
調査については、具体的な調査方法を監督員と協議のうえ、決定するものとする。

第4節 業務内容

1. 現地調査・業務計画作成

現存の点検結果、図面等による当該橋梁の諸元、状態を把握する。
現地調査による損傷箇所の調査、損傷原因の推定及び設計に必要な項目について調査を行う。
以上を踏まえて、当該業務の実施計画を立案する。

2. 詳細調査

工法選定上必要となる以下の試験を実施するものとする。
なお、現地調査及び現地試験は、橋梁点検車を用いて実施するものとする。

反発度法(シュミットハンマー法)：-箇所

圧縮強度試験(JISA1107)：3検体

静弾性係数試験(JISA1149)：3検体

はつり調査(0.3×0.3×0.05m程度)：3箇所

電磁レーダー法：3箇所

電磁誘導法：-箇所

コア採取(φ100×200mm)：3本

残存膨張量試験(JCI-DD2法)：-検体

塩化物イオン含有量試験(JIS A 1154)：13スライス

中性化試験(フェノールフタレイン法)：3検体

中性化試験(ドリル法)：-箇所

試料採取(塩分試験用、ドリル法)：-箇所

塩分試験(ドリル法)：-箇所

3. 補修工法検討・原因除去対策検討

当該橋梁の構造特性、施工性、経済性、維持管理等との整合など総合的な観点から3案程度の工法比較を行い、検討する。また、損傷原因となる部位についての対策を検討・設計する。

4. 損傷図補完【上部工】

上部工の全体的な損傷に対して、損傷箇所の現地精査を行い、図面作成に必要なデータの補完を行う。

5. 図面・数量計算・概算工事費作成【上部工】

上部工における補修工事の発注積算に必要な設計図書、数量計算を作成し、概算工事費を算定する。

6. 損傷図補完【下部工】

下部工の全体的な損傷に対して、損傷箇所の現地精査を行い、図面作成に必要なデータの補完を行う。

7. 図面・数量計算・概算工事費作成【下部工】

下部工における補修工事の発注積算に必要な設計図書、数量計算を作成し、概算工事費を算定する。

8. 照査

設計内容について、現場との整合性、施工性等について着目し照査を行う。

9. 報告書作成

設計業務の成果として、成果の取りまとめを行う。

第3章 打合せ

第1節 打合せ

- ・業務着手時及び成果品納入時には、管理技術者又は照査技術者が同席するものとする。

第2節 打合せ回数

- ・打ち合わせの回数は、3回とし次の段階で行うものとする。
- 第1回 業務着手前の段階
第2回 中間打ち合わせ
第3回 成果品納入時

第4章 安全対策

第1節 保安要員

- ・設置にあたり、関係機関との協議を行い危険防止に努めること。
- ・業務における保安要員の実施伝票は原本を提出すること。
- ・本業務において保安要員の積上げ人数は、保安要員の対象となる作業量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、作業実績等による保安要員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。

第5章 電子納品

第1節 電子納品

- ・本業務は、電子納品対象業務とする。
- 電子納品とは、「平成29年度 福山市電子納品実施要領[土木委託編]」（以下「要領」という）に基づき、「調査、設計、業務などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいうものとする。

第2節 事前協議及び検査前協議

- ・業務着手前及び納品検査前に十分な協議を行い、双方の合意を図るものとする。

第3節 電子納品データのチェック

- ・電子納品にあたっては、フォルダの構成、管理項目、ファイル名等の要領との整合性をチェックプログラム（国土交通省の電子納品チェックシステム等）により確認し、エラーがないことを確認すること。
- ・成果品提出の際には、ウイルス対策を実施した上で提出するものとする。

第4節 成果品に係る費用

- ・成果品の納品に係る費用については、従来どおりの経費の扱いに含むものとする。

第6章 成果品

第1節 成果品の提出（電子納品）

提出すべき成果品及び提出部数は次のとおりとする。

福山市電子納品要領に基づく成果品

正 1

副 1

簡易製本 1

報告書 1

第2節 成果品の提出（紙媒体納品）

提出すべき成果品及び提出部数は次のとおりとする。

報告書 : 規格 : A4(A3) 数量 : 3部 (正 : 1 副 : 2)

電子データ : 規格 : 報告書 (PDF・オリジナルデータ) 図面 (SFC) 数量 : 3部 (正 : 1 副 : 2)

第3節 成果品の装丁等

- ・成果品の装丁等は次のとおりとする。
- ・製本は極力分冊を避け、また分冊を行う場合は、内容の配分を考慮して行うものとする。
- ・報告書は、長期の使用に耐える通常の装丁を行う。

第4節 成果品の提出

- ・受注者は、作成した調査書を成果品とし提出するものとする。
- 1. 成果品は、次の各号により作成するものとする。
 - A) 建物等調査の区分及び内容ごとに整理し、編集する。
 - B) 表紙には、契約件名、委託年度（又は履行期限の年月）、発注者及び受注者の名前を記載する。
 - C) 目次及び頁を付す。
 - D) 容易に取り外すことが可能な方法により編綴する。
- 2. 受注者は、成果品の作成に当たり使用した調査表等の原簿を約款に定めるかし担保の期間保管し、監督員が提出を求めたときは、これを提出するものとする。

第5節 成果品の一部提出

- ・受注者は、業務の実施期間中であっても、監督員が成果品の一部の提出を求めたときは、これに応ずるものとする。
- ・受注者は、前項で提出した成果品について監督員が審査を行うときは、管理技術者を立ち合わせるものとする。

第6節 成果品に係る費用

- ・成果品の納品に係る費用については、従来どおりの経費の扱いに含むものとする。

第7章 その他

第1節 その他の項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

本業務の履行期間は、完了検査期間として10日間を見込んでいる。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.05.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	2 委託	
発注区分	当世代 41 建設コンサル	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地質調査業務費					X2000
一般調査					Y2B01 レベル1
直接調査費	1	式			Y2B0101 レベル2
詳細調査	1	式			Y2B010108 レベル3
詳細調査	1	式			Y2B01010801 レベル4
電磁波レーダー法 1m2程度/箇所	3	箇所			F0001 00
コア採取 100×200～250mm程度 復旧費・処分費を含む	3	本			F0002 00
圧縮強度試験 100mm JIS A 1107	3	検体			F0003 00
静弾性係数試験 JIS A 1149	3	検体			F0004 00

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
はつり調査 0.3×0.3×0.05m程度 復旧費・処分費を含む	3	箇所			F0005 00
全塩化物イオン含有量試験 JIS A 1154 コアスライス	13	スライス			F0006 00
中性化試験 JIS A 1152 コア側面又はコア割裂面	3	検体			F0007 00
塗膜採取 0.3m×0.3m程度 復旧費含む。含有量・溶出試験費は別途計上	1	箇所			F0008 00
塗膜剥離試験 0.3m×0.3m程度(塗膜剥離剤1種類・1回当り) 復旧費・処分費・剥離剤材料費を含む	1	回			F0009 00
直接経費	1	式			Y2B010115 レベル3
電子成果品作成費		式			Y2B01011501 レベル4
電子成果品作成費(調査)	1	式			S2B01011503 00
** 直接調査費 **					単第0 -0001 表

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
間接調査費					Z0001
施工管理費					YZZ0107 レベル2
	1	式			
施工管理費					YZZ010701 レベル3
	1	式			
施工管理費					YZZ01070101 レベル4
施工管理費(調査)					S2Z0107X2 00
	1	式			単第0 -0002 表
* * 純調査費 * *					
諸経費					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 業務価格 * *					
消費税等相当額					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計業務費					X3000
橋梁補修設計業務					Y2C04 レベル1
打合せ	1	式			Y2C0401 レベル2
打合せ	1	式			Y2C040101 レベル3
打合せ	1	式			Y2C04010101 レベル4
打合せ 設計業務	1	業務			SA010100010 00 単第0 -0003 表
橋梁補修設計業務	1	式			Y2C0402 レベル2
橋梁補修設計業務	1	式			Y2C040201 レベル3
橋梁補修設計業務	1	式			Y2C04020101 レベル4

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁補修設計 橋長15m以上100m以下 全体的な損傷	1	橋			SHDA0057 00 単第0 -0004 表
** 直接人件費 **					
直接経費					Z0001
旅費交通費	1	式			YZZ0101 レベル2
旅費交通費	1	式			YZZ010101 レベル3
旅費交通費	1	式			YZZ01010101 レベル4
旅費交通費（設計）	1	式			SZZ0101X3 00 単第0 -0013 表
** 直接原価 **					
その他原価 計算情報..... 対象額..... 率.....					

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 間接原価 **					
** 業務原価 **					
一般管理費等 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 業務価格 **					
消費税等相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 業務委託料 **					
業務価格計					
消費税相当額計 計算情報..... 対象額..... 率.....					
業務費計					

施工単価表

橋梁補修設計
橋長15m以上100m以下

SHDA0057

単第0 -0004 表

全体的な損傷

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
現地調査・業務計画書作成	1	橋			単第0-0005 表
補修工法検討・原因除去対策検討	1	橋			単第0-0006 表
損傷図補完 【上部工】	1	橋			単第0-0007 表
図面・数量計算書・概算工事費作成 【上部工】	1	橋			単第0-0008 表
損傷図補完 【下部工】	1	橋			単第0-0009 表
図面・数量計算書・概算工事費作成 【下部工】	1	橋			単第0-0010 表
照査	1	橋			単第0-0011 表
報告書作成	1	橋			単第0-0012 表
*** 単位当たり ***	1	橋			
A=3 上・下部工に損傷がある場合 C=2 2径間以上ある場合 E=1 [有]現地調査・業務計画書作成			B=1 - D=2 橋脚がある場合 F=1 [有]補修工法検討・原因除去対策検討		
G=1 [有]損傷図補完【上部工】 I=1 [有]損傷図補完【下部工】 K=1 [有]照査			H=1 [有]図面・数量計算書・概算工事費作成(上) J=1 [有]図面・数量計算書・概算工事費作成(下) L=1 [有]報告書作成		

施工単価表

図面・数量計算書・概算工事費作成

SHDA0059

単第0 -0010 表

頁0 -0018

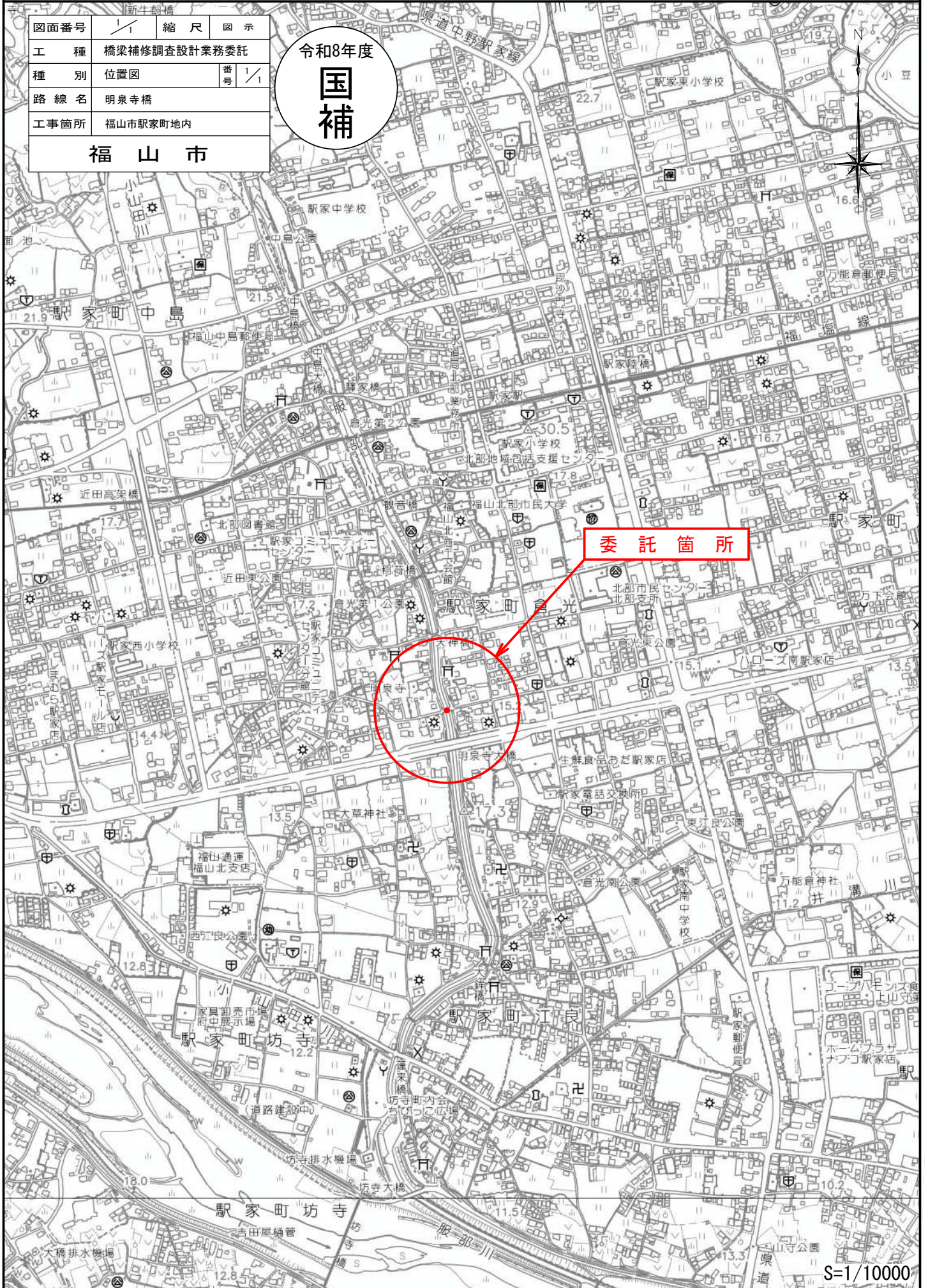
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (B)	1.500	人			1*1.5
技師 (C)	3.000	人			2*1.5
技術員	3.000	人			2*1.5
*** 単位当たり ***	1	橋			
A=6 図面・数量計算書・概算工事費作成			C=2 橋脚がある場合		

1 橋 当り

位置図

図面番号	1/1	縮尺	図示
工種	橋梁補修調査設計業務委託		
種別	位置図	番号	1/1
路線名	明泉寺橋		
工事箇所	福山市駅家町地内		
福山市			

令和8年度
国補



委託箇所

S=1/10000